

**平成 25 年度～平成 29 年度 新学術領域研究**  
**「生命分子システムにおける動的秩序形成と高次機能発現」**  
**第 1 回公開シンポジウムのご案内**

平成 25 年度より、新学術領域研究「生命分子システムにおける動的秩序形成と高次機能発現」（略称：動的秩序と機能）が発足致しました。

生命現象の特質は、システムを構成する多数の分子素子がダイナミックな離合集散を通じて秩序構造を形成し、外的環境との相互作用を行いつつ、自律的に時間発展していくことにあります。本領域は、化学・物理学・生物学の分野横断的な連携を通じて、内的複雑性を秘めた生命分子素子が動的な秩序を形成して高次機能を発現する仕組みを分子科学の観点から解き明かすことを目的としています。特に、生命分子科学と超分子化学の融合により、生命現象の諸相にみられる分子の秩序形成の原理を統合的に理解するとともに、その人工構築を目指します。

科研費の公募班の募集が行われることに合わせまして、本領域の目指す研究を知って頂くために、下記の要領で第 1 回公開シンポジウムを開催致します。皆様のご参加をお待ち致しております。

新学術領域研究「生命分子システムにおける動的秩序形成と高次機能発現」  
第 1 回公開シンポジウム

期日：平成 25 年 10 月 2 日（水） 13:30 より

場所：岡崎コンファレンスセンター（愛知県岡崎市）

URL：<http://seimei.ims.ac.jp/>

問合せ先：「動的秩序と機能」事務局（代表 加藤晃一）

[seimei@riron.moleng.kyoto-u.ac.jp](mailto:seimei@riron.moleng.kyoto-u.ac.jp)

新学術領域研究「動的秩序と機能」領域代表  
自然科学研究機構  
岡崎統合バイオサイエンスセンター

加藤 晃一